

事業報告書

「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」

2024 年 5 月 30 日

特定非営利活動法人関西 NGO 協議会

- a. 組織名 特定非営利活動法人関西 NGO 協議会
- b. 事業名 ワン・ワールド・フェスティバル for Youth
- c. コード番号 22-A-276
- d. 活動の目的

<目的>

地球規模課題を知り、世界とのつながりを意識しながら、自分たちの足元から実践を行い、平和な社会へ貢献するために、以下の 2 点を本事業の重点的な目的とする。

- (1) 将来、世界的な視野を持ち、地球市民として社会課題の解決に向けて行動する青少年（次世代）の育成
- (2) SDGs 達成の重要なアクターであるユース世代と国際協力分野のネットワークの強化、連携の促進

<対象>

青少年（主に高校生世代）

※対面は関西圏の青少年だが、オンラインでは全国から参加が可能

<日時・場所>

日時：2023 年 12 月 17 日（日） 11:00～16:00

場所：大阪 YMCA（大阪市西区土佐堀 1-5-6）※一部プログラムをオンライン配信

<参加人数>

総来場者数：270 名

参加高校数：30 校

プログラム参加者数：延べ 540 名

ボランティア参加：32 名（高校生 25 名、大学生 7 名）

出展数：プログラム 16 団体、ブース 17 団体

間接対象者：延べ 2500 名（参加したユースの友人や家族、当日以外での当該事業の説明や地球規模課題に関する啓発対象者）

e. 活動の内容と方法

対面、オンラインのハイブリッド開催でワン・ワールド・フェスティバル for Youth を開催。オンラインで一部のプログラムへの参加ができるようにした。ブースのエリアと分科会形式のプログラムエリアに分け、参加者が会場を行き来できるようにして、高校生によるプログラム企画、SDGs アクションプランコンテスト、ブース出展、NGO 等の出展プログラムや報告会を実施した。

f. 活動内容の実施経過

1. 【次世代育成】高校生実行委員会によるプログラム企画

本事業の特徴として高校生が中心となって事業を作り上げるところにある。特に、高校生実行委員会は、今年のコンセプト決定、企画・立案や広報、当日の運営を担った。プログラム企画担当や、イベント運営担当、ユース提言担当などに分かれて活動し、それぞれの役割を全うすることで国際協力・SDGs 普及啓発の担い手となった。2023 年度の高校生実行委員は、関西地域から 15 名の高校生が参加し、7 名の「ブース出展チーム」、8 名の「ユース提言チーム」に分かれて活動を行った。7 月以降の高校生実行委員会の取り組みは以下の図の通り。



企画を担当する際の具体的なテーマはその時の実行委員の関心や希望、社会課題の動向により決定することになっており、今年は「日本のゴミ問題について知ろう！」というテーマでのブース出展と「若者の主権者意識を向上させるには??」というテーマでのプログラムを実施した。

ブース出展チームでは、日本のごみの処分方法のうち約 80%が焼却されている現状と、市町村レベルでごみの不法投棄（ポイ捨て）に対する意識の低さに課題意識を持ち、ごみそのものを減らし、ポイ捨てを防ぐために「誰にでも捨てやすく、また捨てたくなる・分別したくないようなゴミ箱のアイデア」を展示した。

また、参加者がごみ問題を「自分ごと」として考えてもらえるように、以下の質問についてのクエスチョンボードを用いて、ごみに対する意識向上を図った。

ユース提言チームでは、日本の若年層、特に 10 代における投票率の低さについて問題意識を持ち、スウェーデンの事例を参考に日常的に気軽に政治について話す環境づくりへの取り組みのひとつとして、高校の必須科目のなかで模擬選挙を行うことを提言するシンポジウムを開催した。浦和大学社会学部准教授／模擬選挙推進ネットワーク 事務局長である林大介さんから、主権者教育の必要性や選挙における若者の 1 票のインパクトについて講演をしていただいた。その後、実行委員 4 名による日本の政治についての独自のマニフェストをもとに模擬選挙を実施しました。また、投票前に参加者同士で話し合いをする時間を持ち、同世代の友人と政治の話題をするという経験の機会を作ることができた。今回のシンポジウムを踏まえ、提言書をまとめ、関西地域の任意の高校へ提言書を提出した。



写真左 「日本のゴミ問題について知ろう！」ブース出展の様子

写真右 「若者の主権者意識を向上させるには??」プログラム出展の様子

2. 【次世代育成】SDGs アクションプランコンテスト

高校生たちが、国際協力や SDGs など、日頃の授業や課外活動で行ってきた取り組みの成果や、地球規模の課題に対する解決策やアクションプランを発表した。関西の学校 3 校から 9 チームの応募があり、一次審査（審査員：緑の地球ネットワーク 東川氏、開発教育協会佐藤氏）で選出されたファイナリスト 7 チームが、イベント内で発表を行った。その過程では発表内容を聞いた NGO 職員（PHD 協会坂西氏）からフィードバックを受けて内容をブラッシュアップする機会を設けた。当日は、分析力、実現可能性、独創性などの基準に基づき、NGO 職員（ウータン森と生活を考える会石崎氏、気候ネットワーク田中氏）と大学教員（近畿大学安田氏）で構成される審査員からの質疑応答も行われた。

最終的には、「ユダヤ人が神戸に残したメッセージとは」と題し、神戸市民によるユダヤ難民の支援の歴史を辿り、現在の難民支援の課題について探求した神戸龍谷高校の生徒 2 名が最優秀賞を獲得した。その他、置き薬の仕組みを使って防災グッズの普及を考えたグループや計算カードでアフリカの子どもたちの基礎計算能力の向上を図る取り組みなどが発表された。このプログラムを通して、国際問題に興味を持っている高校生同士が新たな課題や気づきを得て学び合う場となった。



コンテストの様子

3. 【次世代のネットワーク強化】ブース出展

地球規模課題に取り組む企業・NGO・教育機関等がその取り組みを発表するブースを出展し、来場者に活動紹介や物品販売を行った。多様なセクターの取り組みを知ること、高校生もNGOもさらなる活動の展開へのきっかけになった。



ブース出展団体一覧

プロジェクトアブロード・ヨーロッパ・リミテッド	日本労働組合総連合会 大阪府連合会	(一財) アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪)	国際環境NGO グリーンピース・ジャパン	アジア福祉教育財団 難民事業本部	(公財) アムネスティ・インターナショナル日本関西連絡会
(特活) CODE海外災害援助市民センター	(一社) コミュニティ・4・チルドレン	NPO法人日本アジア球友団 アリグラス	認定NPO法人 Future Code学生部BYCS	(公財) 大阪YWCA	(公財) 大阪YMCA
(公社) アジア協会アジア友の会	国際協力機構関西センター (JICA関西)	認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	ウータン・森と生活を考える会	(特活) 関西NGO協議会	



ブースエリアには、探究活動を発表する高校生探究活動発表エリアを設け、来場者が発表を聞く機会をつくった。

4.【次世代のネットワーク強化】プログラム出展

NGO や企業が担当し、各教室でプログラムが実施された。聴講型のプログラムがあれば、ワークショップで意向を交換し合うプログラムもあり、多様な各プログラム名、出展団体、参加者数は以下の図の通り。

時間	場所	プログラム名	出展団体	参加者(オンライン参加)
11:00～11:05	101教室	開会あいさつ	高校生実行委員会	45名
11:10～12:10	101教室	若者の主権者意識を向上させるには??	高校生実行委員会1-3提言チーム	37名(1名)
	102教室	国際機関で働く～世界銀行とは? 求める人材とは? 必要な準備は?	世界銀行	30名(3名)
11:10～13:20	503教室	【2コマ連続】ウェルビーイングの向上を体験しよう! カードゲーム from Me体験会	大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (株)福笑楽美	17名
12:20～13:20	101教室	難民支援のリアル～徹底解説! ウクライナ危機&北朝鮮問題の現場	国際NGO難民を助ける会 (AAR Japan)	26名(2名)
	102教室	日本に住む1-3の皆さんへ! 海外のNGOからビデオメッセージが届いています	特定非営利活動法人関西NGO協議会	18名(7名)
13:30～14:30	101教室	英語と世界を同時に学ぶ体験授業: 世界のことを知りたい英語が好きな学生向け	一般社団法人EIGC	28名(3名)
	102教室	バリエーション自治体の現状と教育問題について考えよう! インターンによるディスカッションあり	関西NGO協議会2023年度インターン	33名(2名)
	503教室	ロールプレイで学ぶマイノリティ (日常生活にひそむ偏見や差別)	(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)	21名
14:40～15:40	101教室	私たちのお買い物は、持続可能?～未来のお店を考える～	国際環境NGOグリーンピース・ジャパン	20名(1名)
	102教室	1-3が考える! 日本の難民問題と私たちが目指す共生社会	特定非営利活動法人RAFIQ (公社)マルチメディア・インターナショナル日本・関西連絡会	22名(2名)
	503教室	日本と世界のフェアトレード・スクール	日本フェアトレード・フォーラム小吹岳志氏	24名
11:20～12:30	2階ホール	高校生によるSDGsアクションプランコンテスト	特定非営利活動法人関西NGO協議会	54名
11:30～16:00	2階ホール	探究活動発表ライブ	特定非営利活動法人関西NGO協議会	77名
15:45～16:00	101教室	閉会式	高校生実行委員会	73名



プログラムの様子

5. イベント当日以外の呼びかけ

当イベントを多くの方に知っていただくべく、関西の中学校・高校での講演や報告を実施。当日のイベント参加まで至らなかった生徒も多いが、イベントの認知、国際協力について相談ができる関西 NGO 協議会の認知は広がった。

g.活動の成果

1. 参加実績

総来場者数：270 名 参加高校数：30 校

プログラム参加者数：延べ 540 名

ボランティア参加：32 名（高校生 25 名、大学生 7 名）

出展数：プログラム 16 団体、ブース 17 団体

間接対象者：延べ 2500 名（参加したユースの友人や家族、当日以外での当該事業の説明や地球規模課題に関する啓発対象者）

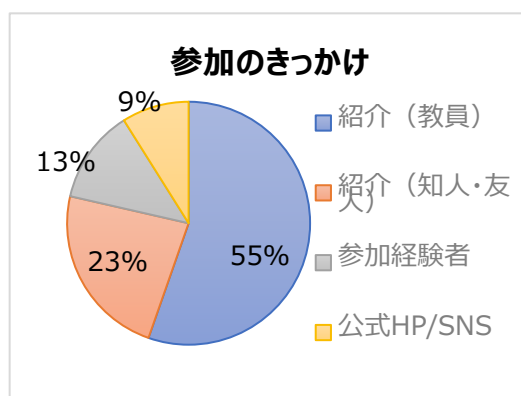
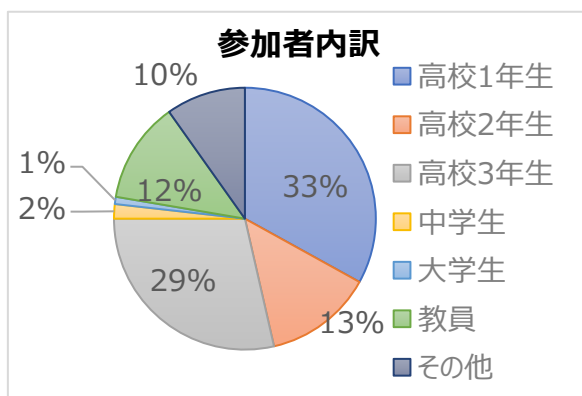
【訪問先】

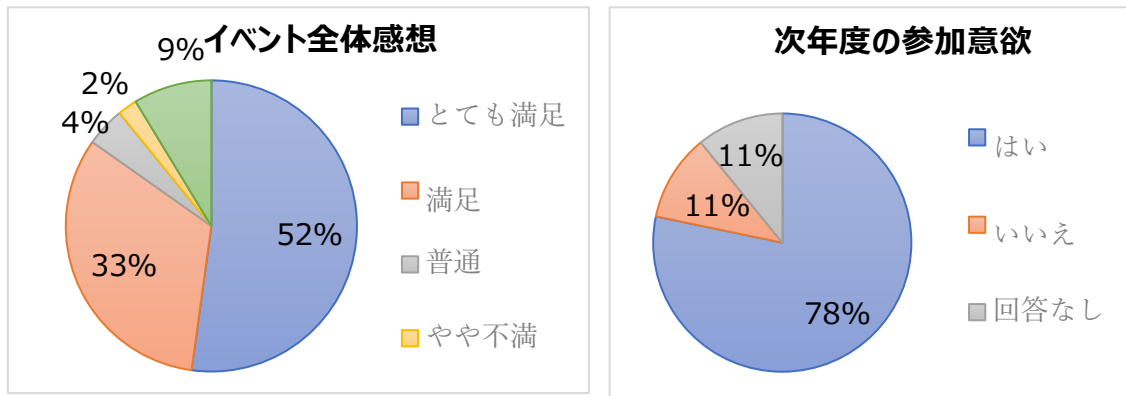
四条畷市立西中学校／泉大津市立小津中学校／枚方市立さだ中学校／西脇市立西脇中学校／京都市立大宅中学校／吹田市立竹見台中学校／京都市立音羽中学校／大阪府立佐野高校／奈良県立奈良北高校／京都府立福知山高校／京都市立日吉ヶ丘高校／和歌山県立笠田高校／京都府立西舞鶴高校／大阪府立住吉高校

その他、事業期間のユースからの個別の相談応対やコンテストの最終選考に残らず当日は参加しなかったユースを含む。

3. アンケート、感想（参加者、ボランティア、高校生実行委員）

ワンフェスユース 2023 参加者の皆様にアンケートを実施し、46 名の回答結果が以下の通りである。





アンケートから高校 1 年生の参加が多く広報のルートは教員の紹介が強く、教員とのネットワークがあるからこそ、当イベントの運営ができていることがわかる。満足度は満足・とても満足で 85% の回答があった。また 78% が次回も参加したいという回答になり、そのニーズを基に次年度の開催を検討したい。

以下、自由記述の参加者からの感想を一部抜粋して記載する。

「このワンフェスユース 2023 を通じて改めて自分が世界市民としての意識ができた。」

「世界の現状(難民問題・性差別)で苦しめられている人々を改めて知る事ができました。今後はこれらの問題を軽く考えるだけでなく、重要なものとして学んで行きたいと思います。」

「自分の事ではないからと見て見ぬふりをするのではなく、グローバル化していくこの世界を生きる 1 人の人間として同じ重さの責任を持ち、今の状態を再認識し、自分に出来ることをしていきたいと思った。」

「世界で起きている問題が様々な問題を通して、それぞれの価値感のある国同じでの意見交換が印象的だった。全てのプログラムが自分のためになったと実感した。」

「同世代の人と関わることができて良かった。他校の発表や NGO など関わることが少ないので豊富な知識を得ることができていい経験ができました。」

「様々なブースを回って話を聞いたことで、難しくても考えて、それぞれが思いついたやり方で社会問題を解決しようとしていることが分かりました。私もこれから自分なりに考え、できることを見つけたらやってみようと思いました。」

ボランティアからの感想

「今回ボランティアに参加したことによって、大雑把にしか知らなかった世界の問題をより深くまで勉強することが出来た。また、それらの問題を解決するために沢山の団体が作られていたり、私と同じ高校生も動き始めていることを知り、とても刺激的

で新しい経験となった。この経験を生かして、私自身も変えたい社会問題に目をつけ、実際に行動を起こそうと考えている。」

「このボランティアを通して、私は主体的に行動することの大切さを学びました。外国の子どもたちは、現状を開き、自分に出来ることを探し、かつそれを実行できる主体性があり、それが大人を動かし、現状を変えたのです。「子どもだから××できない」と諦めずに頑張っている子どもたちの話を聞いて、私も行動を自分から起こしたいと思いました。傍観せず、積極的に介入する、という姿勢が大切だと思いました。」

高校生実行委員からの感想

「私は以前、別の団体で食に関する政策提言を体験して、その経験を生かせるのではないかと考え、今回実行委員に応募させていただきました。私たちのチームは若者の主権者意識向上という身近でありながらも、規模の大きいテーマに取り組みました。なぜ若者が政治に関心がないのかという問いに当事者の私たちが真摯に向かい合いました。途中ゴールを見失い、チームとしてシンポジウムをどうしていくのかが不透明になった時期もありましたが、最後には成功を収めることができたので良かったです。なにより、社会をこれからもよりよくしていこうという気持ちが一層強まりました。そのためどんな形であれ、社会についてこれからも考え続けたいです。」

「私は文化祭でのSDGs活動がきっかけで、今回ユース提言チームに参加しました。学校で社会問題について学んではきたものの、「提言」という形で知識をアウトプットするのは初めてだったこともあり、最初は不安も沢山ありました。けれども他のメンバーやいろいろな方々のサポートに支えられながら、紆余曲折あったものの楽しく活動することができました。シンポジウム本番では、自分が社会問題について発信する側に立ったことの感動、そして他人に同じ熱量を持って実際に行動を移してもらうことの難しさを感じました。提言チームとしての活動は終わってしまうけれど、この経験を活かしてこれからも様々な社会問題に目を向けていきたいです。」

「私は前年度のワン・ワールド・フェスティバル for Youthに参加し、難民をはじめとする世界の様々な問題について知り、興味を持つことができました。ワンフェスユースをきっかけに世界の問題について興味を持って多くのことを調べるようになったので今度は自分が誰かのきっかけになりたいと思い実行委員として参加しました。チームの仲間と日程を合わせたりオンラインで会議をしたりなど難しく感じることもありましたが、全員で提言の完成を目指して最後までやり切ることができました。活動を通して、初対面人との関わり合いや話し合いの進め方など多くのことを学ぶことができました。これからも世界のために貢献できるように学び続けていきます。」

上記感想を踏まえた当事業の成果は以下の通りである。

■青少年へのエンパワメント

15 名の高校生が高校生実行委員として当イベントの企画・運営に参画し、その機会を通じて持続可能な地域社会や国際社会を築く次世代リーダーが育成された。各実行委員の感想からも、学校を超えて、同世代のユースが集まり、企画を考え実施をしていく、そのプロセスはとても貴重であったという声もあり、当事業だからこそ実施することができた青少年へのエンパワメントだったと考えている。

■人材育成

当イベントは高校生を中心に若い世代を対象とした「人材育成事業」と位置付けている。人生の早い段階で、社会課題に関心を持ち、NGO/NPO の取り組みへの理解や参加する機会を通じ、経済活動だけではなくグローバルな視点で「持続可能な社会」や「世界をとりまく諸問題の解決」を意識することは、人類共通の課題解決に寄与できる人的資源の開発そのものである。当イベントを通じて、そうした社会参画のきっかけを提供することができた。

■ネットワーク強化

来場する高校生、ブース出展をする NGO や企業、教育機関、双方が互いの取り組みを知り、イベント後続く、交流や協働が生まれるきっかけをつくることができた。実際に当イベントを通じて知ることができた NGO のボランティア活動に参加する高校生もあり、ユース世代と NGO のネットワークを広げる機会となった。



中心となって運営を行った高校生実行委員会のメンバー

■自己資金の獲得

当事業の課題のひとつに運営資金不足が挙げていたが、高校生実行委員とともに関西 NGO 協議会が寄付の呼びかけ、出展の呼びかけを実施した。企業、団体、個人への依頼をし、結果としてプログラム出展料 55 万円（ブース 17 団体、プログラム 16 団体）、協賛金 495,000 円（7 団体）、クラウドファンディング等を通じた寄付 635,656 円（48 名・団体）の獲得ができた。関係を継続させながら、運営資金の獲得を次年度以降も目指していきたい。

h.今後の課題

2024 年度も事業を継続し、ユース世代が地球規模の課題を知り、参画するきっかけを作っていきたいと考えている。そのためにも、2023 年度の取り組みを基に課題となった①集客（広報力不足）②運営資金の不足に対して、具体的な取り組みが必要だと考えている。

① 2023 年度は参加者見込みより減少する結果となってしまった要因は広報力不足である。教員を通じた広報を継続させながらも、広報に協力いただく教員自体を増やすため、積極的に教員の説明会や宣伝を行っていく。また、高校生向けの地球規模の課題に関心を持つ機会の提供や、直接高校生に情報が届くよう、SNS の積極的な活用も視野に広報を行い、さらなる集客を目指していきたい。

② 運営資金では、クラウドファンディング等を通じて繋がりを得た個人、企業との関係性を継続させ、年間 200 万円の運営資金獲得を目指していきたい。既存スタッフの営業能力や管理能力を向上させるために研修機会にも積極的に参加し、組織としてのファンドレイジング能力を高めていきたい。また、協賛、寄付ブースやプログラム出展の団体数を増やすことは収益だけでなく、多様な課題・団体とつながる場にもなるため、運営資金の獲得だけでなく、参加者のためにも声掛けを続けていきたい。

その他、高校生実行委員を経験した方々が、今後の進路で NGO へのインターンや海外留学など、よりグローバルな視点で、学びを深め経験を積めるよう、関西 NGO 協議会としてキャリア形成でのフォローアップをし、未来の支援者につなげていく。さらに学生生活や社会人生活を過ごすなかでも、SDGs への理解と達成に向けた行動、自らが住む地域を含む広い意味での社会参加につなげていただくために、関西 NGO 協議会から地域や世界の課題を発信していきたいと考えている。

以降 参考資料「ワンワールドフェスティバル forYouth2023 当日配布パンフレット」



12/17 
[11:00~16:00]

開催場所

会場 **大阪 YMCA**

大阪市西区土佐堀 1-5-6
Osaka Metro 西つ橋線「肥後橋」3番出口より徒歩5分
Osaka Metro 御堂筋線・京阪線「淀屋橋」4番出口より徒歩10分
※JR 大阪駅や阪神梅田駅からの徒歩でお越し頂けます

一部プログラムは
オンライン配信予定

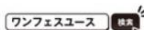


ワンフェスユース
公式サイト

事前申込制 11月中旬受付開始(予定)

主催・問い合わせ先 **特定非営利活動法人 関西NGO協議会**

〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30 4階
TEL: 06-6377-5144 (火曜~金曜 10:00 ~ 18:00)
メール: youth_expo@kansaingo.net
ホームページ: <http://owf-youth.com>

 @owfyouth  owfyouth 



主催 特定非営利活動法人 関西NGO協議会

協力 公益財団法人 大阪YMCA、ワンフェスユース高校生実行委員会、
ワンフェスユースアドバイザーグループ、ワンフェスユースOV会

後援 外務省、文部科学省、JICA関西、大阪府教育委員会、朝日新聞社、
大阪府国際交流財団、開発教育協会(DEAR)、
ESD活動支援センター兼近畿地方ESD活動支援センター、SDGsプラットフォーム

協賛 独立行政法人環境再生保全機構(ユース提言チーム)、公益財団法人庭野平和財団、
公益財団法人大阪コミュニティ財団/江田直介・藤子健やかな青少年育成基金

協賛 近畿ろうきん・社会貢献預金(笑顔プラス)

 株式会社パーキバット・デザインズ



ワン・ワールド・フェスティバル for Youth (ワンフェスユース) は、高校生を主体とした、日本最大級の国際協力・SDGs・多文化共生に関するフェスティバルです。イベントをつくるのは、関西地域を中心に様々な学校から集った高校生。高校生実行委員会として、イベント運営や、ブースやプログラムの出展企画、クラウドファンディングなどを担います。

あなたもワンフェスユースに参加して、今日さまざまな視点から取り組まれている社会課題を知り、その解決に向けて、「最初の一步」を踏み出しましょう！

MENU 1

タイムテーブル



ランチタイムセッション：昼食をとりながら参加できるプログラムです。プログラム開始までにご準備してお持ち込みください。

10階101	10階102	5階503	ホール	2階 ホワイエ
11:00 開会あいさつ 高校生実行委員会				
11:10 若者の主権者意識を向上させるには?? 高校生実行委員会 ユース提言チーム	国際機関で働く～世界銀行とは? 求める人材とは? 必要な準備は? 世界銀行	ウェルビーイングの向上を体験しよう! カードゲーム from Me 体験会 共同主催：大阪大学社会ソリューションイニシアティブ、(株)福笑素美 (ふくわらび) 共催：いのち会議市民部門、日本ファンドレイジング協会関西チャプター 後援：一般社団法人産技術振興協会		
12:10 難民支援のリアル～徹底解説! ウクライナ危機&ロヒンギャ問題の現場 国際NGO難民を助ける会 (AAR JAPAN)	日本に住むユースの皆さんへ! 海外のNGOからビデオメッセージが届いています 関西NGO協議会		SDGs アクション プラン コンテスト	ブースエリア
12:20 英語と世界を同時に学ぶ体験授業: 世界のことを知りたい英語が好きな学生向け 一般社団法人EIGC (Educational Institute for Global Communication)	パレスチナ自治区の現状と教育問題について 考えよう! インターンによるディスカッションあり 関西NGO協議会インターン	ロールプレイで学ぶマイクロアグレッション (日常生活にひそむ偏見や差別) (一財) アジア・太平洋人権情報センター (ヒューライツ大阪)		発表エリア
13:20 英語と世界を同時に学ぶ体験授業: 世界のことを知りたい英語が好きな学生向け 一般社団法人EIGC (Educational Institute for Global Communication)				
13:30 私たちのお買い物は、持続可能? ～未来のお店を考える～ 国際環境NGOグリーンピース・ジャパン	ユースが考える! 日本の難民問題と私たちが目指す共生社会 (公社) アムネスティ・インターナショナル日本 関西連絡会 NPO法人RAFIQ 難民との共生ネットワーク	日本と世界の フェアトレード・スクール 日本フェアトレード・フォーラム 小坂昌志氏		
14:30				
14:40				
15:40				
15:45 閉会式 高校生実行委員会				
16:00				

MENU 2

プログラム案内



若者の主権者意識を向上させるには?? (101教室)

皆さんは政治に関心がありますか。政治に関心を持つには、主権者教育の機会が重要だとされています。学生のうちから政治に親しみ、有権者の意識を持つことが政治への関心に繋がります。本プログラムでは、主権者意識を育むことを目的に実施します。同じ高校生の目線で、若者がつくる未来の可能性について考えてみませんか?

難民支援のリアル～徹底解説! ウクライナ危機&ロヒンギャ問題の現場 (101教室)

紛争や迫害で家を迫られた難民は世界で1億1,000万人超。ロシアの軍事侵襲が続くウクライナの難民、国内避難民、ミャンマーの武力弾圧を逃れたロヒンギャ難民への人道支援に取り組む、「日本生まれの国際NGO」難民を助ける会所属のジャーナリストが報道だけでは見えない「難民支援のリアル」を動画・写真を交えて解説します。



英語と世界を同時に学ぶ体験授業：世界のことを知りたい英語が好きな学生向け (101教室)

「英語力を高めて、将来、少しでも世の中の役に立つ社会人になれたらなあ」そんな学生を支援したいと考えるEIGCが、英語と世界の出来事を同時に学べる授業を行っています。効率的に英語力を高める構文リプロダクション練習など、EIGCメソッドも体験できます。教員の方も歓迎!



国際機関で働く～世界銀行とは? 求める人材とは? 必要な準備は? (102教室)

仕事として国際協力をするための進路には色々な選択肢があります。その中の一つが「国際機関」。今回は「国際機関で働く」をテーマに現役の世界銀行職員が解説します。そもそも世界銀行とは何か、どんな仕事をしているのか。企業やNGOとの違いは何か。国際機関に求められる人材とはどんな人材なのか。国際機関で働くために必要な準備は何かなどについて参加者の皆様の疑問にお答えしながら解説します。登壇：世界銀行東京事務所上級対外関係担当官 大森功一

日本に住むユースの皆さんへ! 海外のNGOからビデオメッセージが届いています (102教室)

関西NGO協議会が海外のNGOとの繋がりを広げていく中で知り合ったたくさんの仲間たち。私たちはそれぞれ様々な課題を抱えていますが、目指す世界、取り組む気持ちはみんな同じです。そんな海外の仲間から、これから生きるユースに向けたメッセージが届きました! お昼ごはんを食べながら、気軽に聞きたい来て下さい!!



パレスチナ自治区の現状と教育問題について考えよう! インターンによるディスカッションあり (102教室)

パレスチナ自治区は、どんなイメージがありますか。10月7日、パレスチナ自治区ガザ地区を支配するイスラム組織ハマスと、イスラエル軍による武力衝突が勃発し、多くの一般市民が犠牲になっています。そんなパレスチナ自治区の情勢と教育問題について、講師の方をお呼びし、その後インターンによる簡単なパネルディスカッションと来場者の意見交換の場を設ける予定です。お昼ごはんを食べながら参加できます。



響き渡れ、多彩な音色

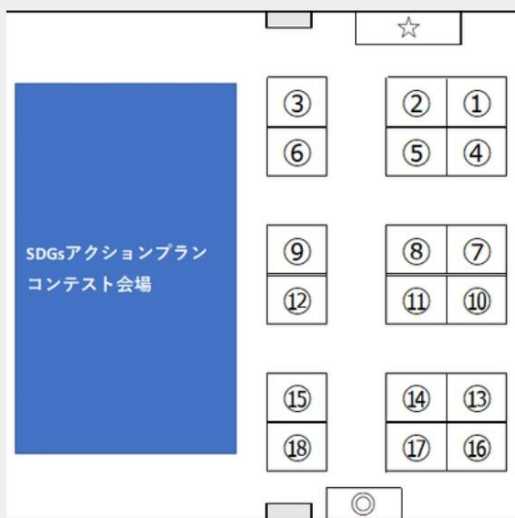
ワンフェスユース2023の開催テーマは、「響き渡れ、多彩な音色」です。

私たちワンフェスユース2023高校生実行委員は「一人ひとりの未来ある個性が、社会問題を解決する力を持っている」という気づきを、ユースである私たちから広げていきたいという目標を掲げています。

音があるから音楽があるように、あなたがいるから社会があります。音楽はたくさんの音色（個性）が共存し、響き渡るから美しくなります。互いの個性を認め合い、より良い社会を創るムーブメントを起こしていきたいという願いを込め「響き渡れ、多彩な音色」というテーマにしました。



2階ホール内ブースMAP



ブースエリア

1. プロジェクトアブロード・ヨーロッパ・リミテッド
 2. 日本労働組合総連合会大阪府連合会
 3. 一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター
 4. 一般社団法人 グリーンピース・ジャパン
 5. 公益財団法人 アジア福祉教育財団 難民事業本部
 6. 公益社団法人 アムネスティ・インターナショナル日本関西連絡会
 7. 高校生実行委員会
 8. 高校生実行委員会
 9. 一般社団法人 コミュニティ・4・チルドレン
 10. NPO法人 日本アジア球友団ラリグラス
 11. 認定NPO法人 FutureCode 学生部BYCS
 12. 公益財団法人 大阪YWCA
 13. CODE海外災害援助市民センター
 14. 独立行政法人 国際協力機構 関西センター (JICA関西)
 15. 特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
 16. ウータン・森と生活を考える会
 17. 公益社団法人 アジア協会アジア友の会
 18. 公益財団法人 大阪YMCA
- ☆. 特定非営利活動法人関西NGO協議会展示スペース

私たちのお買い物は、持続可能?~未来のお店を考える~

(101教室)

便利だけれど、世界中で深刻な問題となっているプラスチック。海や陸の汚染だけでなく、健康への悪影響、気候変動を悪化させることも問題に。プラスチックの約半分は身近な容器包装。カフェやスーパー、コンビニなどプラスチックに溢れる社会の中で、どのように持続可能な未来を作っていくべきか? 皆さんと一緒に考える時間です。



ユースが考える!日本の難民問題と私たちが目指す共生社会

(102教室)

アフガニスタンからの難民の経験を動画で見た後、日本における難民認定基準、難民申請者および難民認定された人々の保護・支援体制の問題点について学習します。その後、ワークショップでは「難民申請者が日本で経験していること、困っていること、もっと改善すべきこと」を参加者がグループで考えます。



SDGsアクションプランコンテスト最終審査会(2階ホール内)

グローバル・ローカル問わず、様々な社会課題の解決へ取り組む8つの高校生チーム。NGOスタッフとのブラッシュアップを経て、最終発表に備えてきました。高校生ならではのアクションプランをぜひ聞いてください。優秀者には表彰あり。



【事前予約不要】探究活動発表エリア(2階ホワイエ)

日頃、授業や学外の取り組みとして国際協力やSDGsについて探究活動を精力的に行っている行った個人もしくはグループが来場者に向けて5分間のプレゼンを行います。会場参加者から直接、プレゼンの感想や質問を受けつけ、活動のさらなるブラッシュアップに繋がります。



ウェルビーイングの向上を体験しよう!カードゲームfromMe体験会(503教室)

カードゲーム「from Me」は、寄付、投資、消費、貯蓄など、お金の使い方を通して自分のウェルビーイング(幸福)の向上とお金の使い方の関係性を疑似体験できるカードゲームです。ゲーム中に発生する出来事によって、自身の選択が社会に与える影響や成果に気付く、自身のウェルビーイングとのつながりを体験しよう!



ロールプレイで学ぶマイクロアグレッション(日常生活にひそむ偏見や差別) (503教室)

「ゲイっぽくなくて普通だね」「○○人の友達がいるから偏見とかないよ」…善意からの言葉でも、言われた方はモヤッとすることも。マイノリティに対する偏見や差別意識の多くは、悪意を感じさせない言葉や態度にあらわれるため見過ごされがちです。こうした日常にひそむ偏見や差別(マイクロアグレッション)についてロールプレイ形式で学びます。



日本と世界のフェアトレード・スクール(503教室)

世界には多くのフェアトレードタウンやフェアトレード大学があります。さらにフェアトレードスクールは、現在世界に1879校もあり、多くの中高高校生が活躍しています。902校もあるドイツや、629もあるイギリス、さらに日本の先進的なフェアトレードスクールの活動を見て参考にしてみませんか?



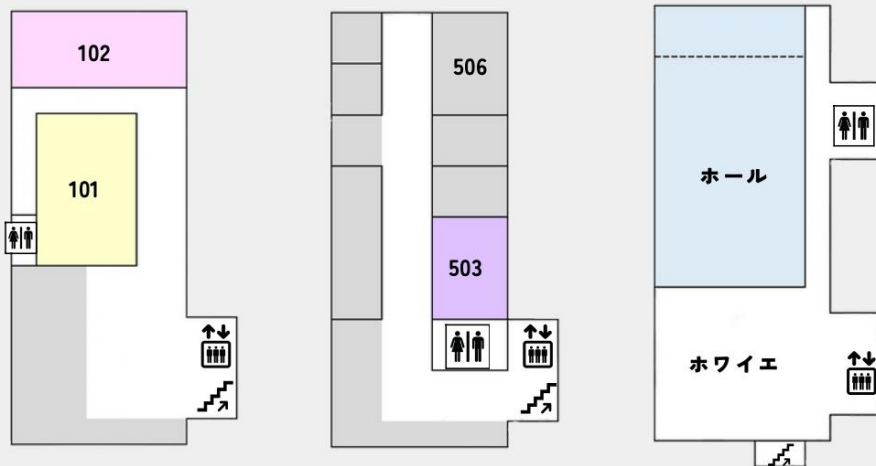
101教室・102教室・503教室で開催されるプログラムは事前予約制です。予約なしで参加を希望される方は各プログラム会場のスタッフへお声掛けください。

【会場のご案内】

プログラムは10階（101教室・102教室）、5階（503教室）、ブースエリア・SDGsアクションプランコンテストは2階ホール内にて実施致します。探究活動発表エリアは2階ホール前のホワイエにて実施致します。

MENU 4

会場のご案内



各階、お手洗いはございますが、10階は数が少ないため5階もしくは2階をご利用ください。

MENU 5

開催パートナー

高校生実行委員

いっちゃん、かいくん、かずと、かのん、さくら、さらん、たなけん、はるき、ほのか、みほ、やまなくん、ゆうき、ゆっきー、りお、りりか、（計15名）

ご協賛・ご寄付頂いた皆様



真如苑



日本労働組合総連合会
大阪府連合会（連合大阪）

クラウドファンディングへご協力をお願い

ワンフェスユース2023を支えて頂けませんか？
12月17日(日)23:59まで、高校生実行委員が主体となつて、クラウドファンディングに挑戦しています。ご支援いただいた方には高校生実行委員オリジナルデザインの返礼品もお渡しいたします。
右のQRコードよりクラウドファンディングサイトへアクセスできますので、ご協力頂きますようお願い致します。（クレジットカード可）



特定非営利活動法人

関西NGO協議会

大阪市北区茶屋町2-30 大阪聖パウロ教会4階
TEL : 06-6377-5144 FAX : 06-6377-5148
MAIL : youth_expo@kansaingo.net
HP : https://owf-youth.com